

令和元年度 学校関係者評価

鳥栖市立基里小学校

1 学校関係者評価実施状況

- | | |
|----------------|---|
| (1) 学校関係者評価実施日 | 令和2年3月25日(水) |
| (2) 評価者 | 基里小学校学校評議員5名 |
| (3) 評価の参考とした資料 | 年度末の学校評価(教職員作成)
教育課程等に関する教職員の反省
第1回～第3回までの学校運営協議会の議事録 |

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・教職員のコミュニケーションとあらゆる情報の共有は最も重要であると思うが、校長、教頭、教務主任、三役の連携状態は、特に職員室では、影響を及ぼすと思うが、よく保たれていると感じた。
- ・小中一貫教育の具体的実践に取り組んでいる教職員は、58.8%になっているが、具体的な改善策・向上策では、小中共通の授業づくりの視点を意識した授業は全職員が「取り組んでいる」になっている。具体的実践と視点を意識した授業の取組は、どのような違いがあるのか。
- ・「教職員の資質の向上」は、目標として、妥当性は、大変よいと思う。
- ・「業務の改善・教職員の働き方改革の推進」は、目標としてよいと思う。
- ・上記の目標を数値(75%以上)で表記しており、分かりやすい。また、具体的方法も分かりやすく理解できる。良好と思う。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・保護者や地域への学校教育活動の公開については、よくなされていると思う。
- ・危機管理の事象の絞り込みは、難しいと思うが、いろいろな状況を推察して考察してほしい。
- ・学校図書の年間貸出数について目標貸出数の達成が80%と具体的な数字が計上され、達成した児童が80%になっていると記されているが、どのような本を読んで、読んだ本に対する感想文の作成とかは指導はされているのか。
- ・学校としての取組状況が評価でき、自己評価の妥当性は、理解できる。達成度は「B」であるが、「A」に近い「B」だと思う。新年度は「A」になると思われる。

③改善方策の適切さ

- ・このような多くの評価項目について、また、具体的な方策のもと、分析評価し、今後の改善方策を生み出してあるのは、素晴らしいと思う。
- ・適切に対応されていると思う。
- ・具体的な改善方法・向上策に全職員が取り組んでいるように理解できる。児童が「授業が分かる」と答えたことは大切である。評価は良好だ。

(2) 教育活動について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・特にいじめ対策については、全教職員で常に意識し、今後も研修及び実態把握に徹してほしい。
- ・「元気に挨拶・返事」は、保護者 85%、児童 93.5%が当てはまると答え、継続して指導されている成果が出ているようだが、時々、登校時、道路に立っているが、老人は聞こえづらい人が多く、大きい声で元気よく挨拶ができないと聞こえない場合がある。大きい声で元気よく指導していただけたらもっと印象がよくなるのではと思われる。
- ・現在の教育は、目には見えない「心の教育」が話に出る。道徳教育に努めて授業が行われており、達成状況は良好なものと思う。

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性及び③改善方策の適切さ

- ・自己評価とその分析は的確であると判断する。
- ・小中一貫校のモデル校としての役割は、十分になされたと思う。
- ・いじめの問題対応について教育相談研修会を月に1回または必要に応じて開催し、実情把握や対応を協議したとなっているが、具体的ないじめの事例はなかったか。
- ・取組状況は、適切であり、その自己評価も妥当性はあると思う。努力されているのが理解できる。

③改善方策の適切さ

- ・具体的に適切に打ち出されていると思う。
- ・こうした評価分析はすばらしく、Plan、Do、Check、Actionの方法で進めてほしい。
- ・適切に対応されていると思う。
- ・改善方策は、記載されているように理解できる。授業の公開も実施されており、その参加者が多いので、良好な結果をもたらすと思う。

3 その他学校に対する意見や提言

- ・学校でも家庭でも、児童のうがい、手洗い等、健康生活指導をお願いしたい。

- 教育活動の項目で小中一貫教育の項目があるが、現場の先生方は基里小、中において、その必要性をどのように捉えているか。
- 教科「日本語」があるが、今までの国語の科目との兼ね合い、または、時間配分などの問題点はないか。
- 結果的に「基里っ子見守り隊」が具体化したことは、大変よかった。継続できるように頑張りたいと思う。個々の積み重ねが大切だ。